

住民アンケート調査実施報告 (概要版)

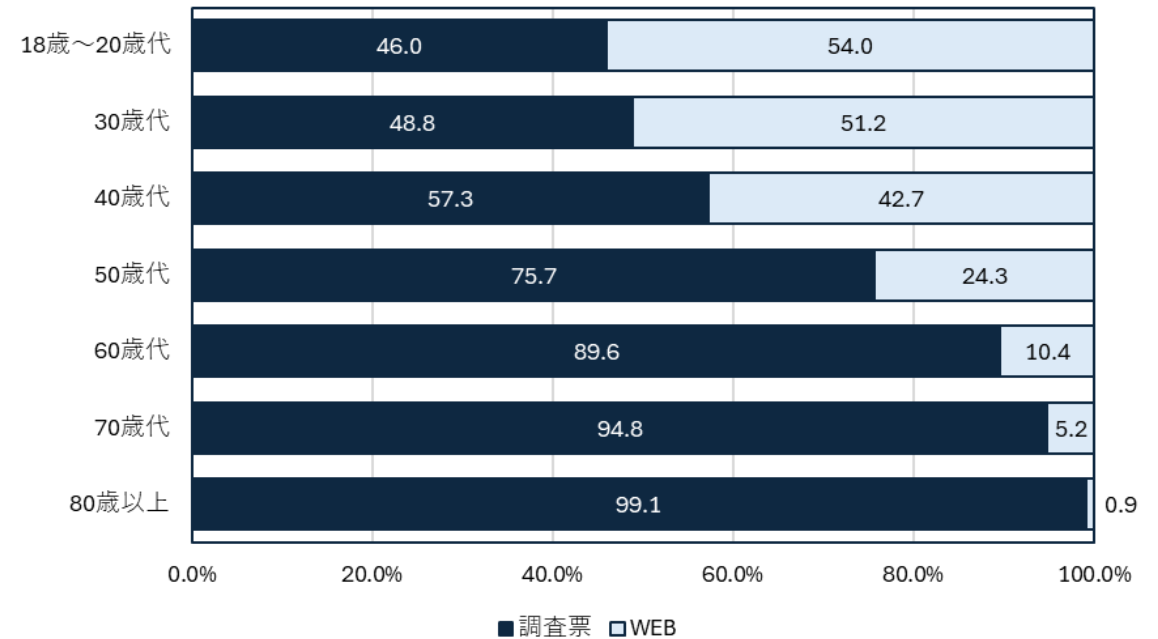
岩泉町

1. 実施内容

(1) 目的 本調査は、新岩泉町未来づくりプラン（仮称）基本計画を策定するため、町の現状やまちづくりに関する住民の意向を調整・分析することを目的として実施するものである。

(2) 概要

項目	内 容
対象	18歳以上の町民
実施期間	発送：令和7年9月22日（月） 回収：令和7年10月27日（月）まで WEB：令和7年10月24日（金）まで
配布・回収方法	配布：無作為抽出の上 2,126部郵送 回収：回答した調査票を郵送回収及びWEBフォームで回答
回収実績	郵送：716部 WEB：185部 合計：901部（回収率40.3%）
主要な設問	属性 暮らし全体について／医療・福祉について／社会参加について／環境について／教育について 交通・住環境・情報通信について／産業経済について／行政・協働について



2 調査結果

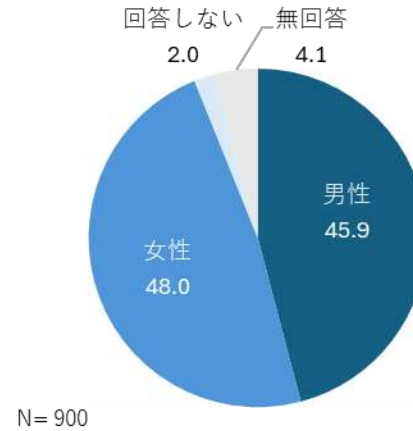
(1) 属性

1) お住まい

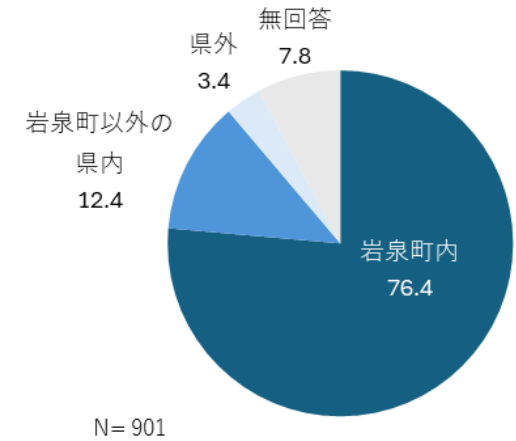
選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 岩泉	292	32.5
2 小川	185	20.6
3 大川	92	10.2
4 小本	181	20.1
5 安家	104	11.6
6 有芸	31	3.4
無回答	14	1.6

有効票数 = 899

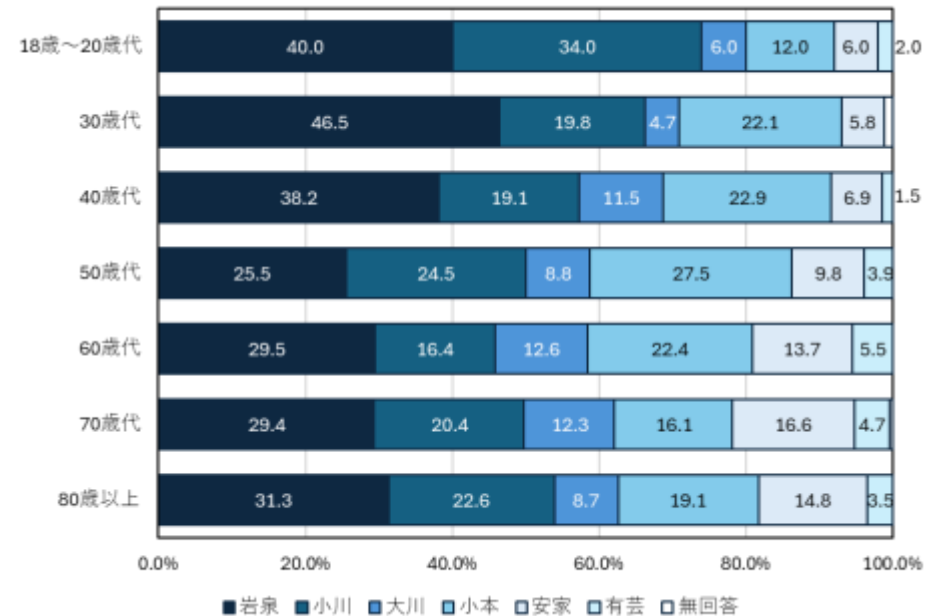
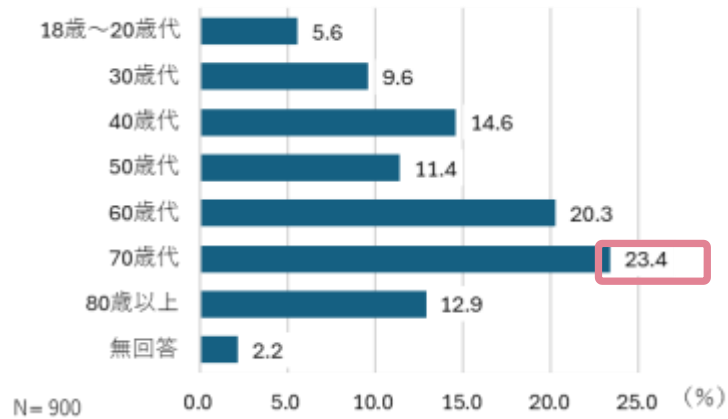
2) 性別



3) 出身地



4) 年代



70歳代以上が36.3%を占めており、仕事も「無職」(26.1%)が最も多い。

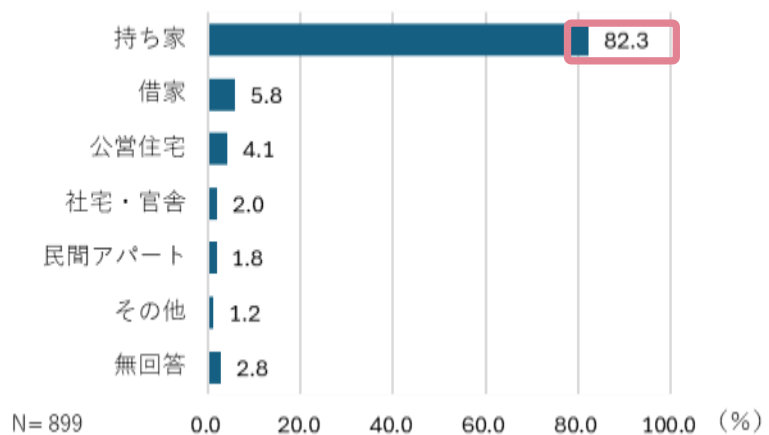
5) 家族構成

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 単身	164	18.2
2 夫婦のみ	235	26.1
3 親と子	318	35.3
4 祖父母と親と子	69	7.7
5 その他	77	8.6
無回答	37	4.1

有効票数 = 900



6) 住宅の状況

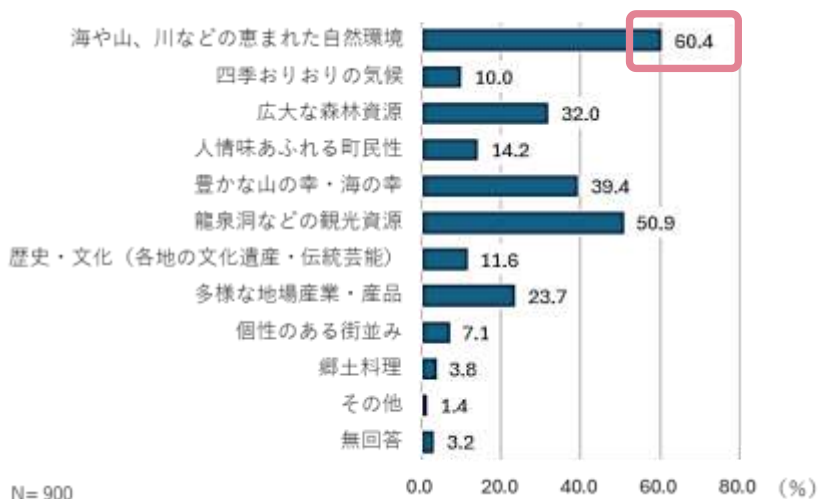


「単身」または「夫婦のみ」が60歳代以上の年代では半数以上。

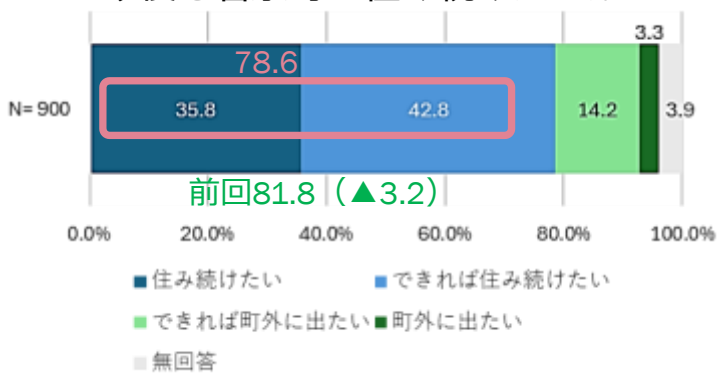
(2) 暮らし全体について

1) 岩泉町の強み

- 将来に活かすべき個性や特徴



●今後も岩泉町に住み続けたいか



住み続けてもらうために大切なことは
「就労機会の充実」「医療・福祉環境の充実」
「子育て環境の充実」が高い割合

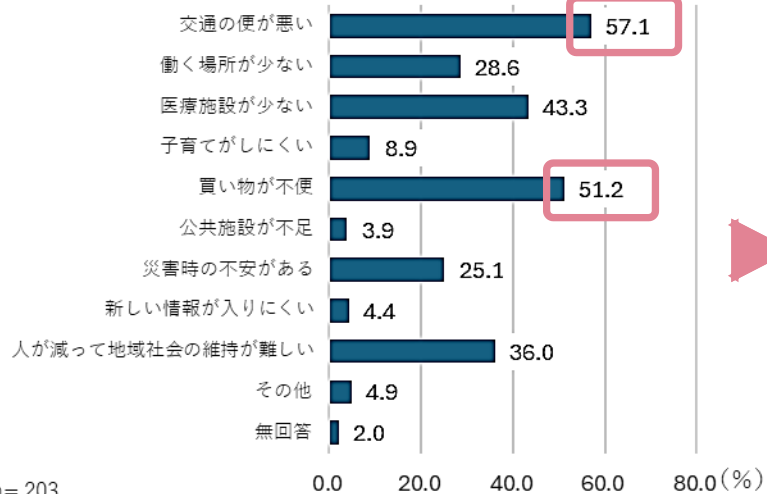
2) 岩泉町の弱味

- 岩泉町の住みやすさ

選択肢	回答数(人)	比率(%)
1 非常に住みやすい	38	4.2
2 住みやすい	323	35.8
3 どちらともいえない	314	34.9
4 住みにくい	170	18.9
5 非常に住みにくい	36	4.0
無回答	20	2.2

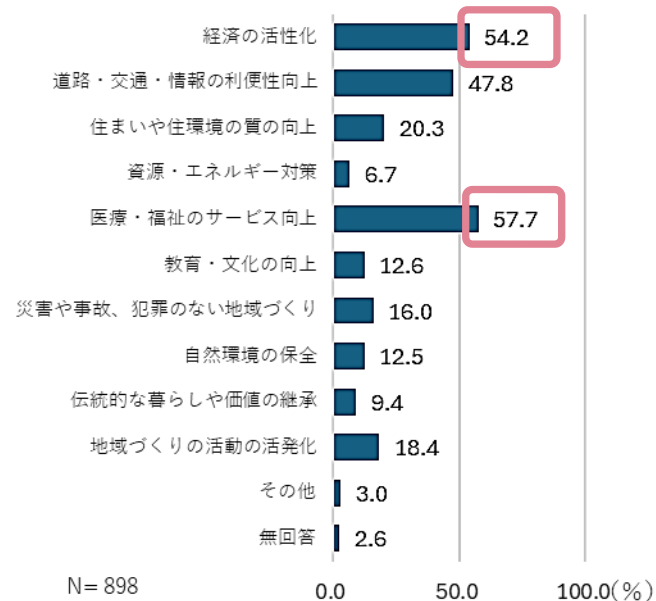
有効票数 = 901

●住みにくい理由



3) 岩泉町の機会

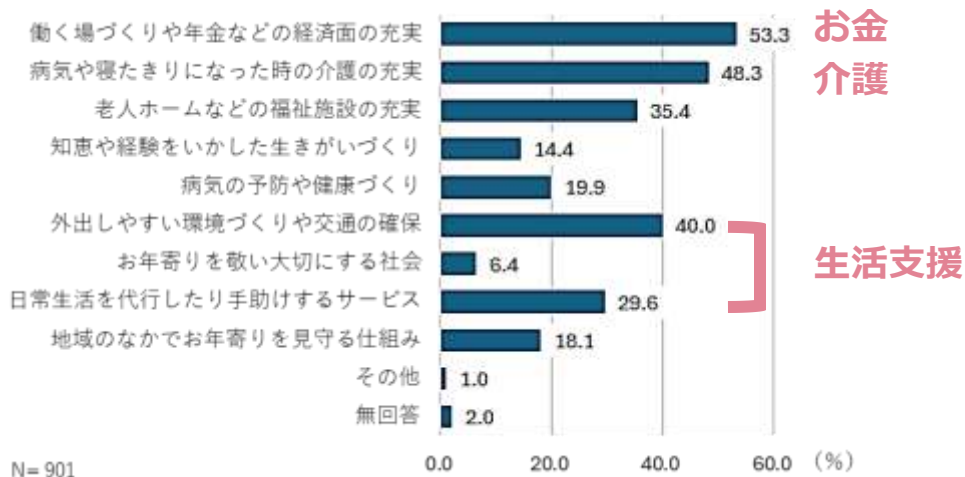
- 「魅力あるまち」にするために優先すること



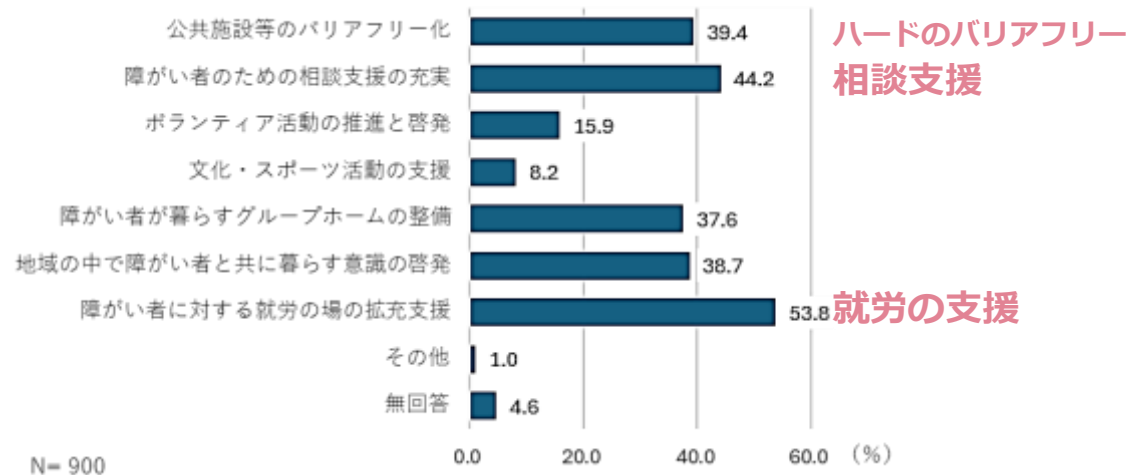
18~20歳代では「働く場所が少ない」、
30歳代以上では「医療施設が少ない」も高い。
50歳代では「人が減って地域社会の維持が難しい」も高い。

(3) 医療・福祉

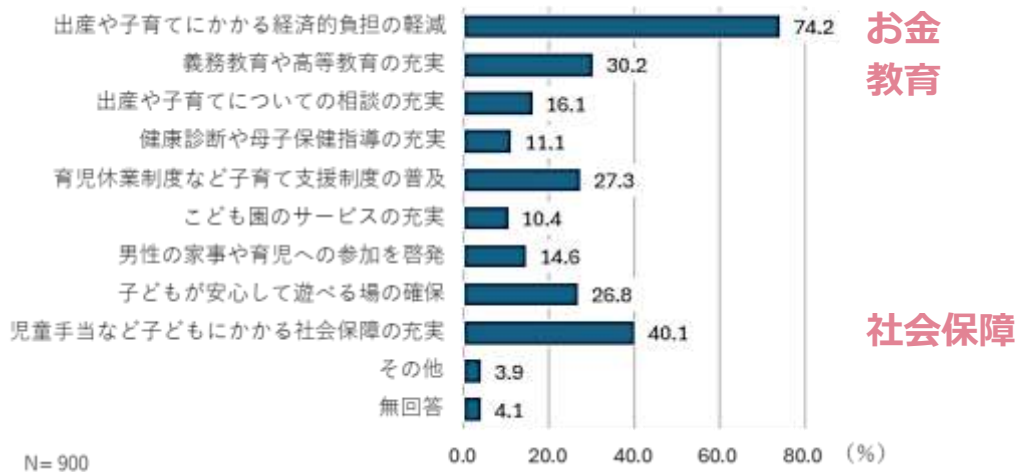
1) より良い老後のために



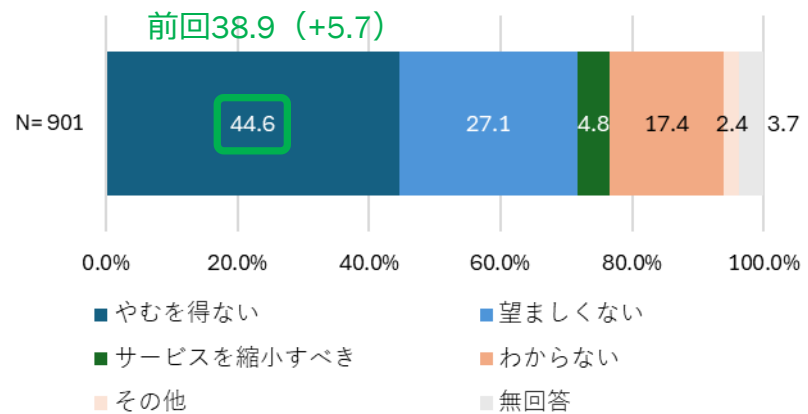
3) 障がい者と共に



2) 出産と子育てに大切なこと



4) 福祉サービスの負担



「やむを得ない」 44.6%

「望ましくない」 + 「サービスを縮小すべき」 31.9%

(4) 社会参加

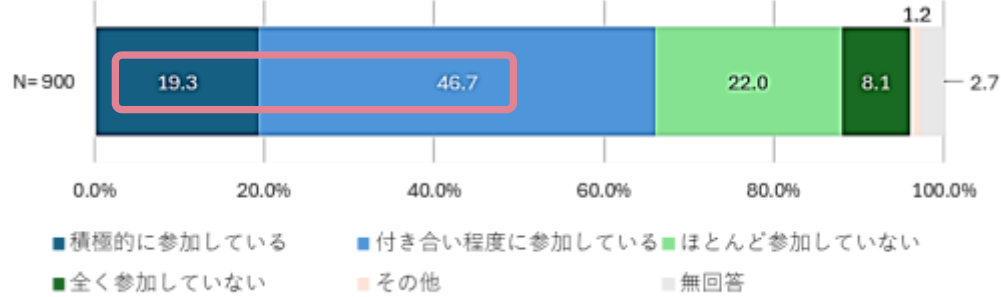
1) 地域への参加

● 地域の人との関わり

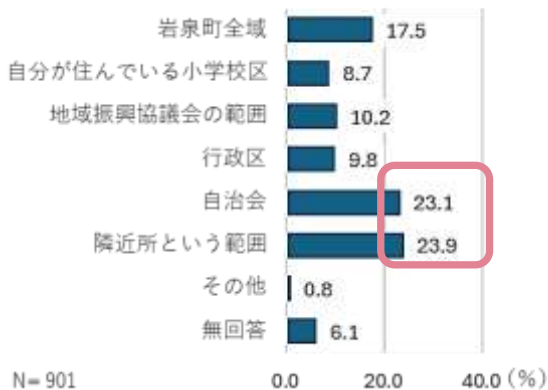


● 地域活動の参加

「積極的に参加」 + 「付き合い程度に参加」 66.0%



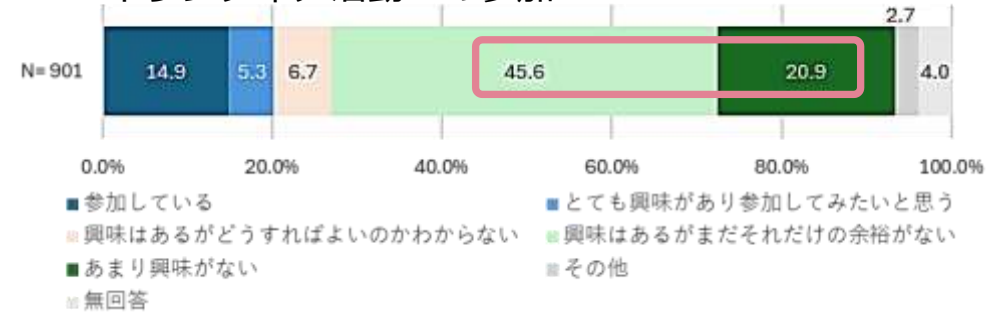
● 「住民同士の助け合い」の範囲



自身が手助けをしたいことは「清掃活動」「災害時の安否確認」「高齢者のみ世帯、障がい者単身世帯などの見守り」の順で割合が高い

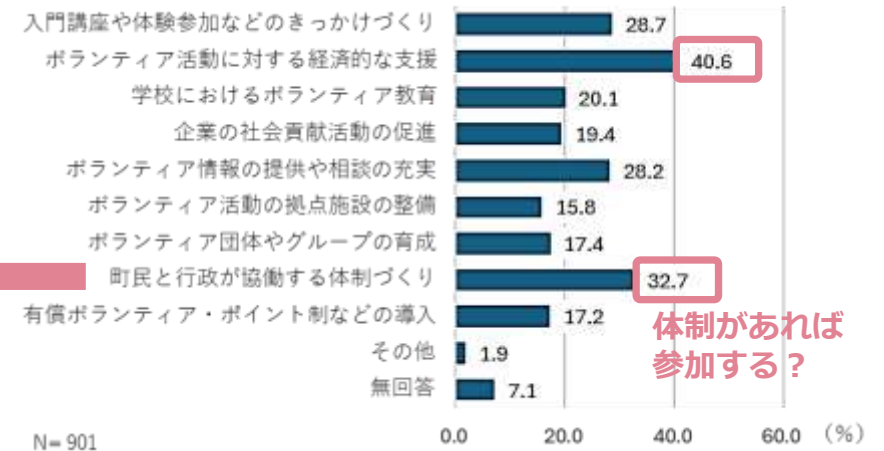
「興味はあるがまだそれだけの余裕がない」 + 「あまり興味がない」 66.5%

● ボランティア活動への参加

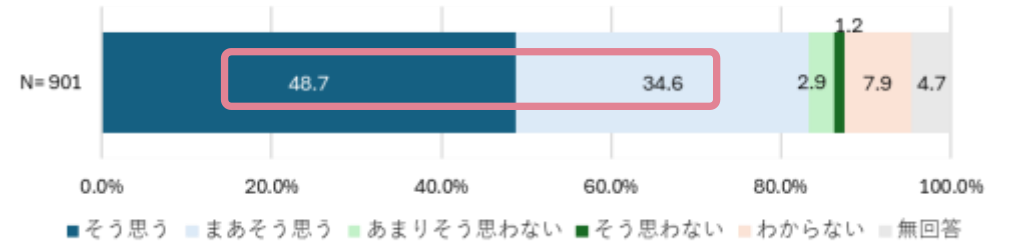


● 活性化のために

● 協働や町民同士の助け合いが重要になること

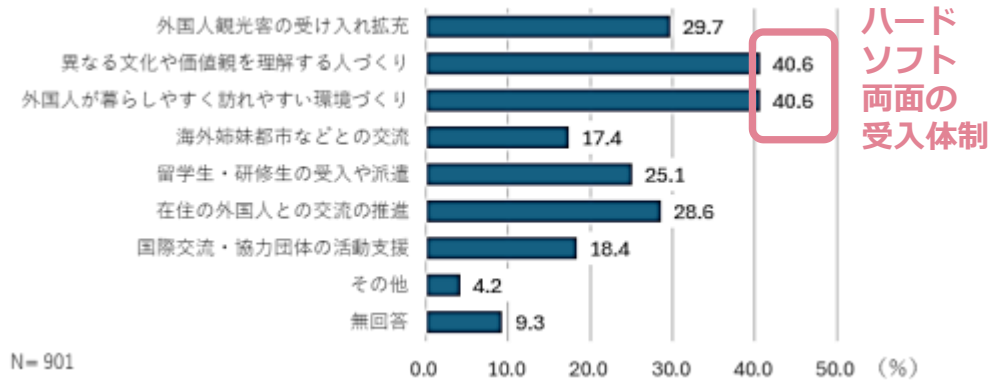


体制があれば参加する?

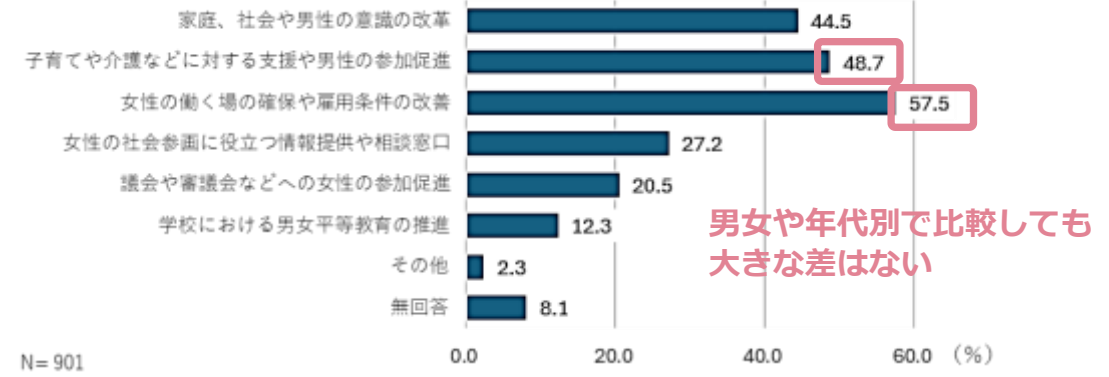


「そう思う」 + 「まあそう思う」 83.3%

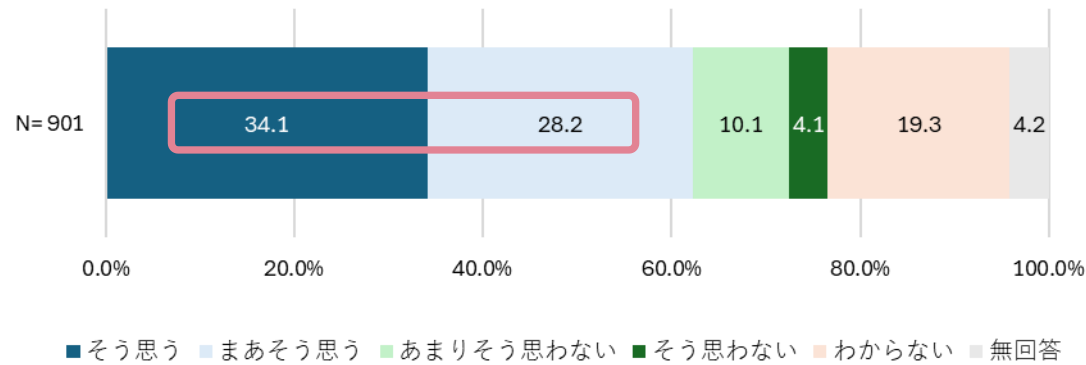
2) 国際化



3) 女性の社会参画



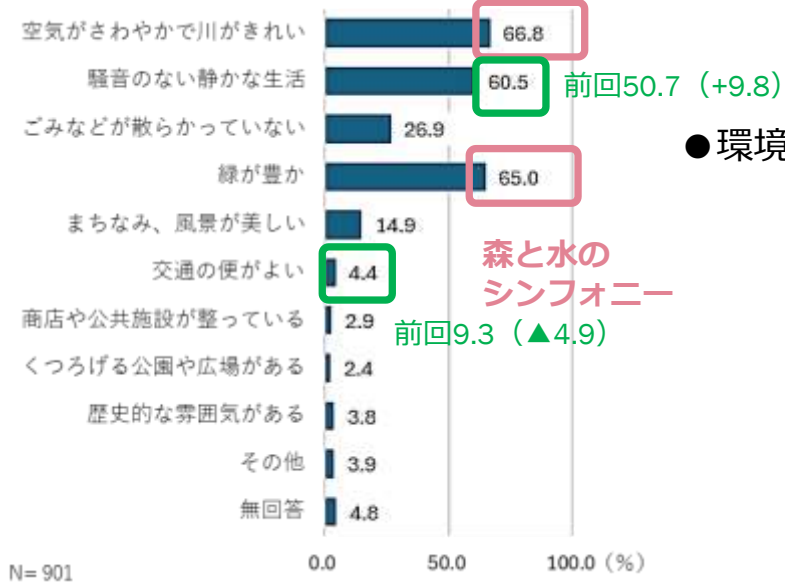
4) 地域振興協議会の役割を高める必要性



「そう思う」 + 「まあそう思う」 62.3%

(5) 環境

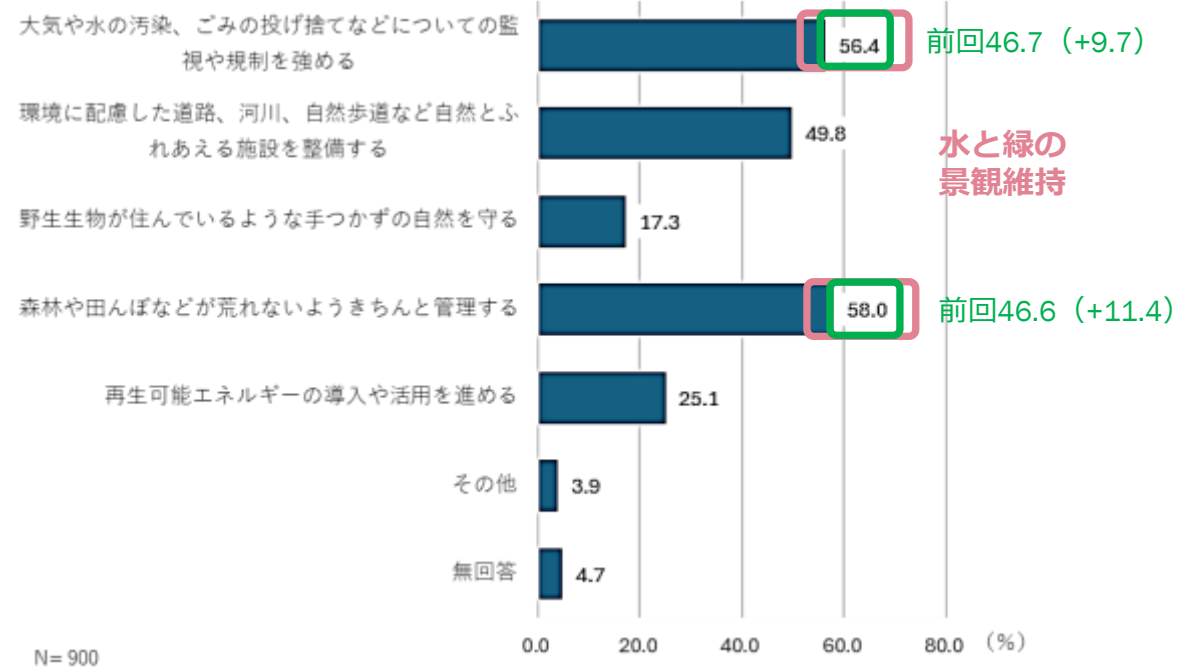
1) 地域環境の強み



●環境を守るために

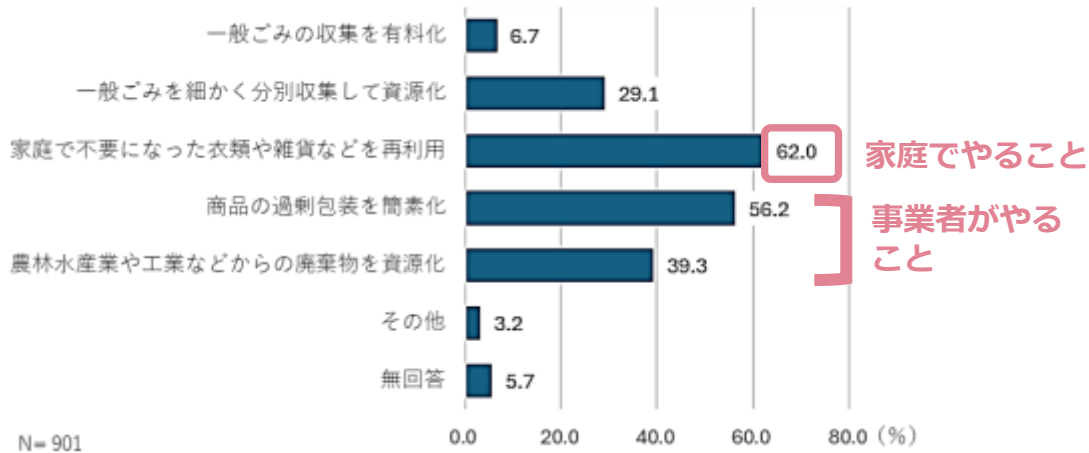


森と水のシンフォニー



水と緑の景観維持

2) ごみ減量や資源リサイクルの推進

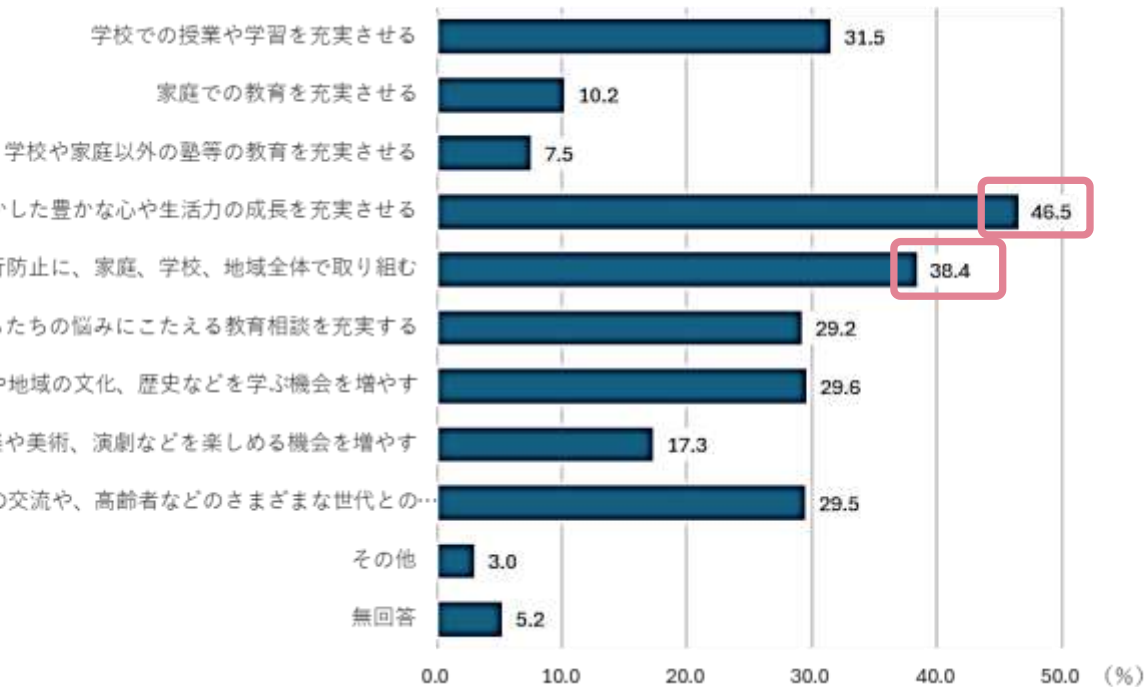


(6) 教育

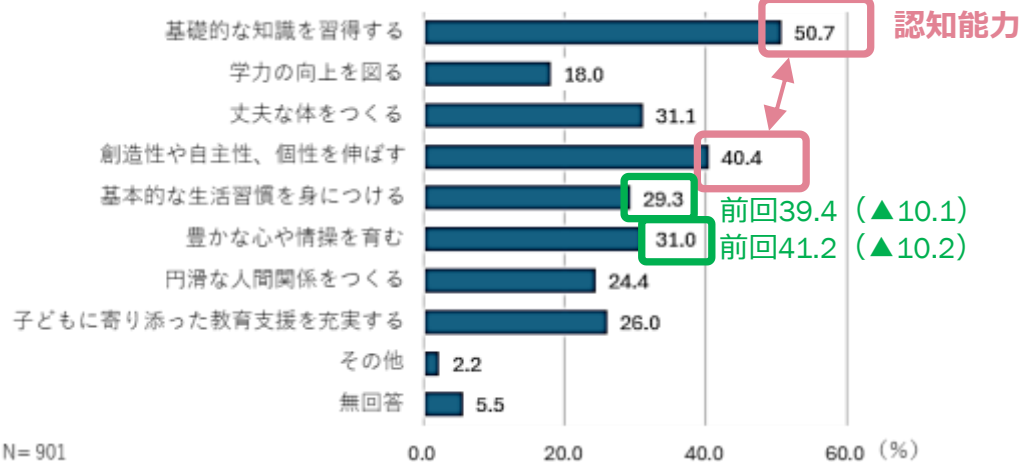
1) 義務教育時期に大切なこと



学校で勉強以外の個性を活かした豊かな心や生活力の成長を充実させる
 いじめ問題や非行防止に、家庭、学校、地域全体で取り組む
 子どもたちの悩みにこたえる教育相談を充実する
 自然とのふれあいや地域の文化、歴史などを学ぶ機会を増やす
 音楽や美術、演劇などを楽しめる機会を増やす
 海外や県内外の地域の人々との交流や、高齢者などのさまざまな世代との...



2) 小中学校に期待すること



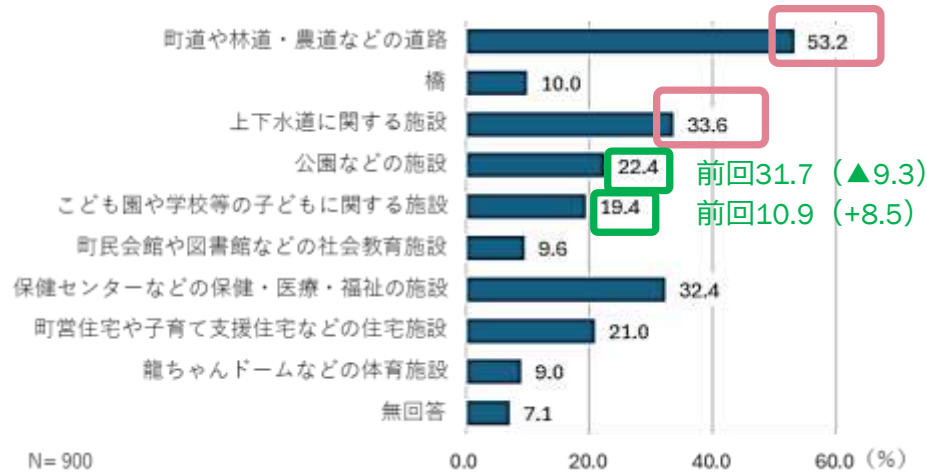
3) 生涯学習の取組



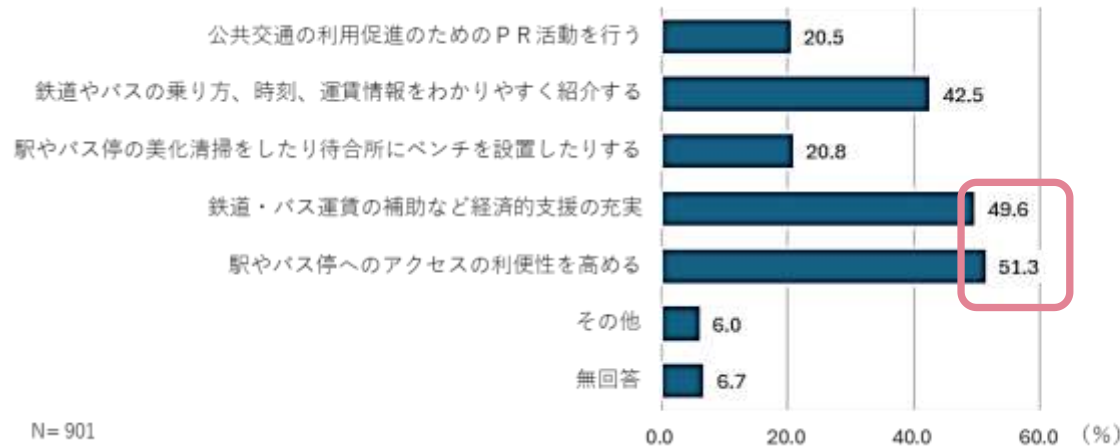
そこまで必要なものだと感じていない？

(7) インフラ・防災

1) インフラ整備



2) 公共交通



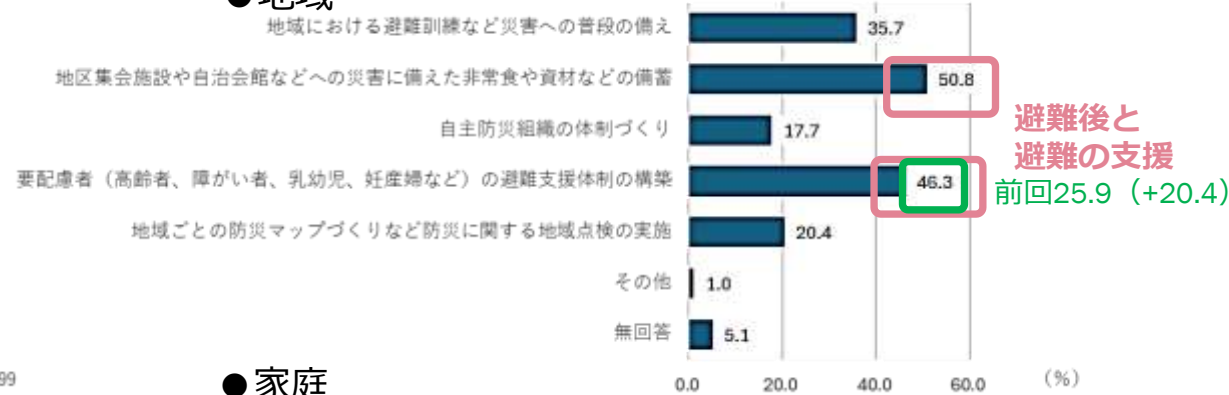
3) 防災

●行政



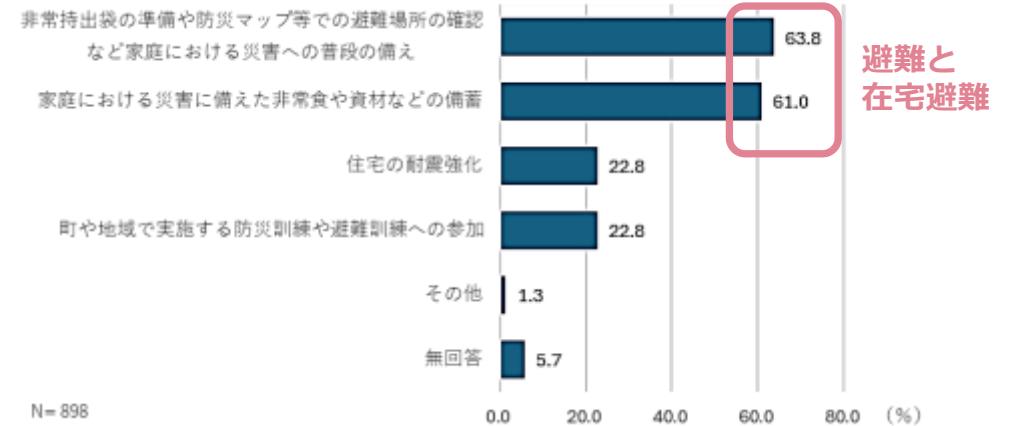
避難時

●地域



避難後と
避難の支援
前回25.9 (+20.4)

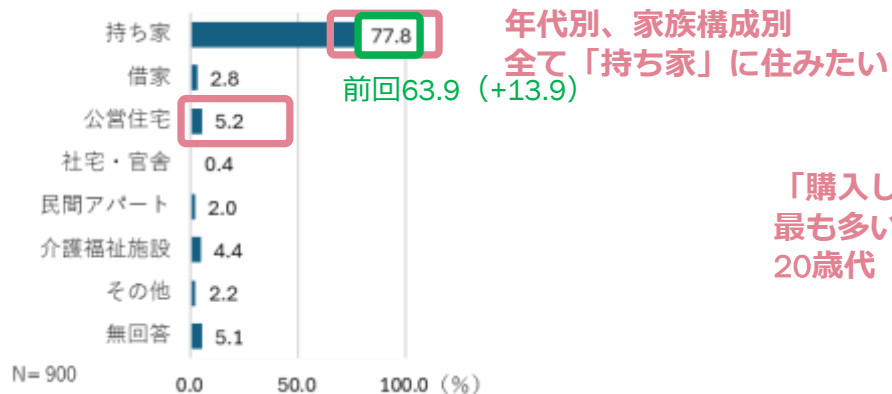
●家庭



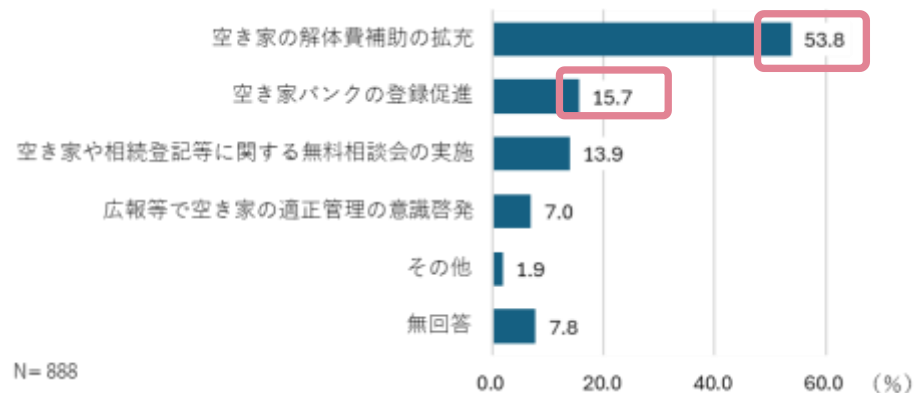
避難と
在宅避難

(8) 住環境

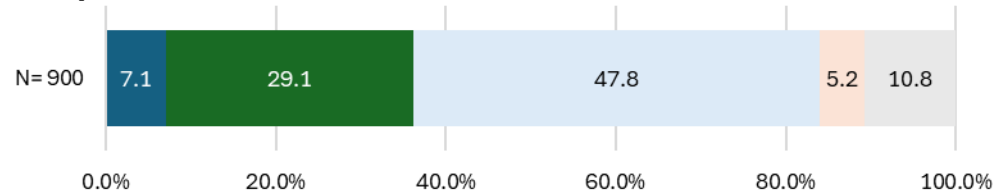
1) 今後住みたい住居



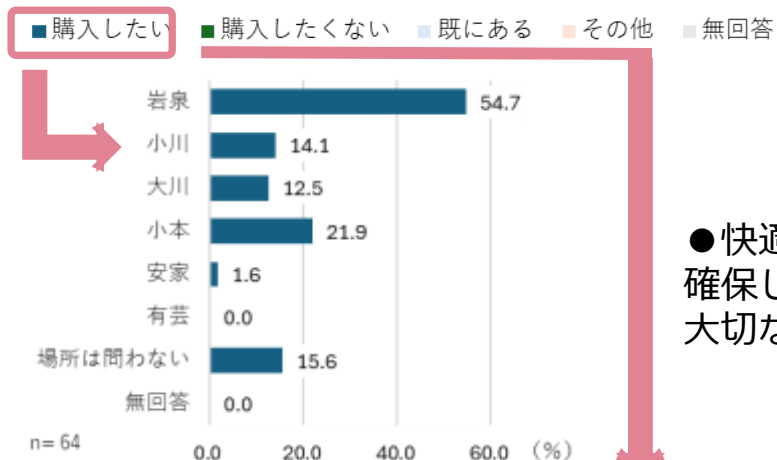
3) 空き家問題解決



2) 宅地購入



「購入したい」が最も多いのは18~20歳代



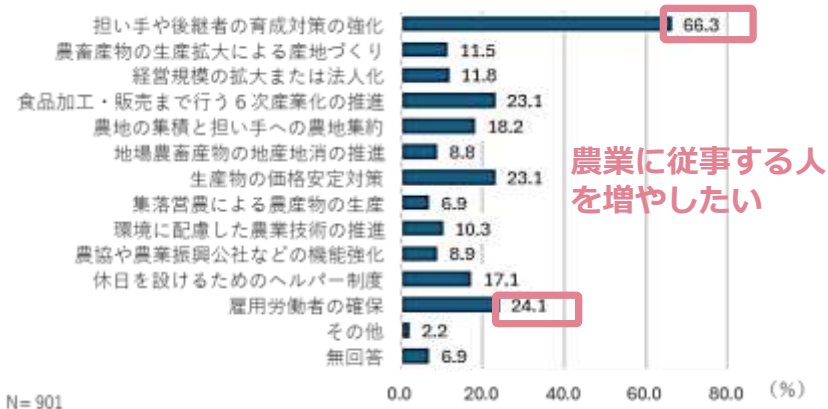
● 快適な住まいを確保していくうえで大切なこと



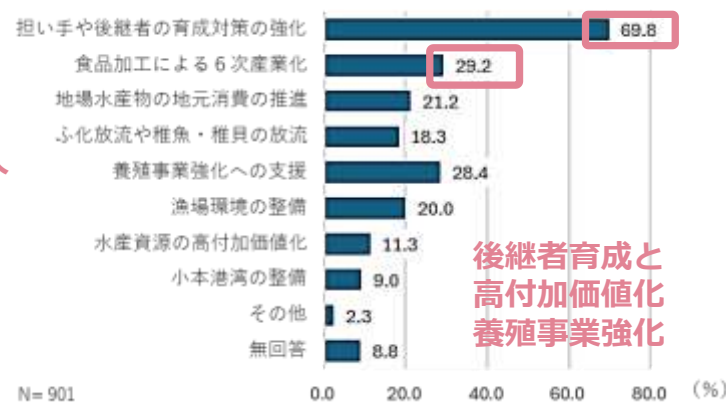
30歳代以下と80歳以上は2番目に「新築補助」が高い
40歳代~70歳代は2番目に「エアコン購入補助」が高い

(8) 産業経済

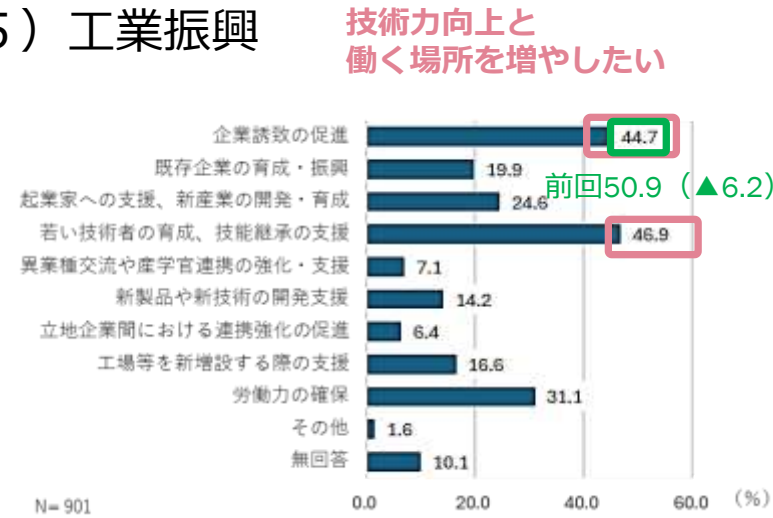
1) 農業振興



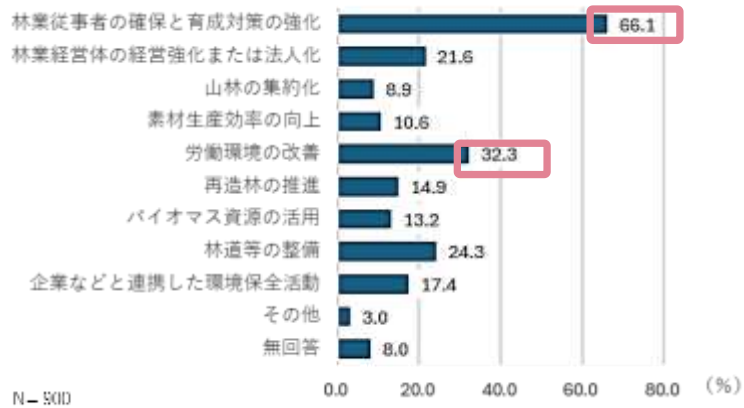
3) 水産業振興



5) 工業振興



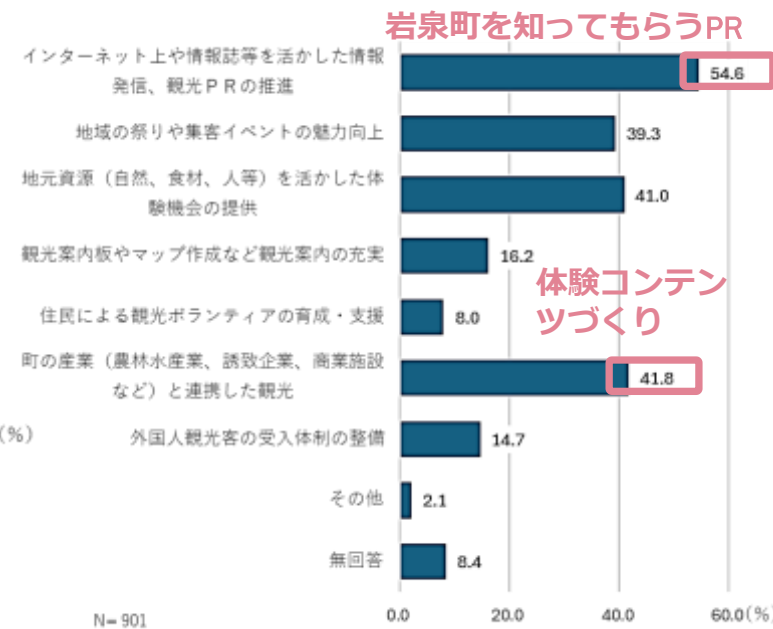
2) 林業振興



4) 商業振興

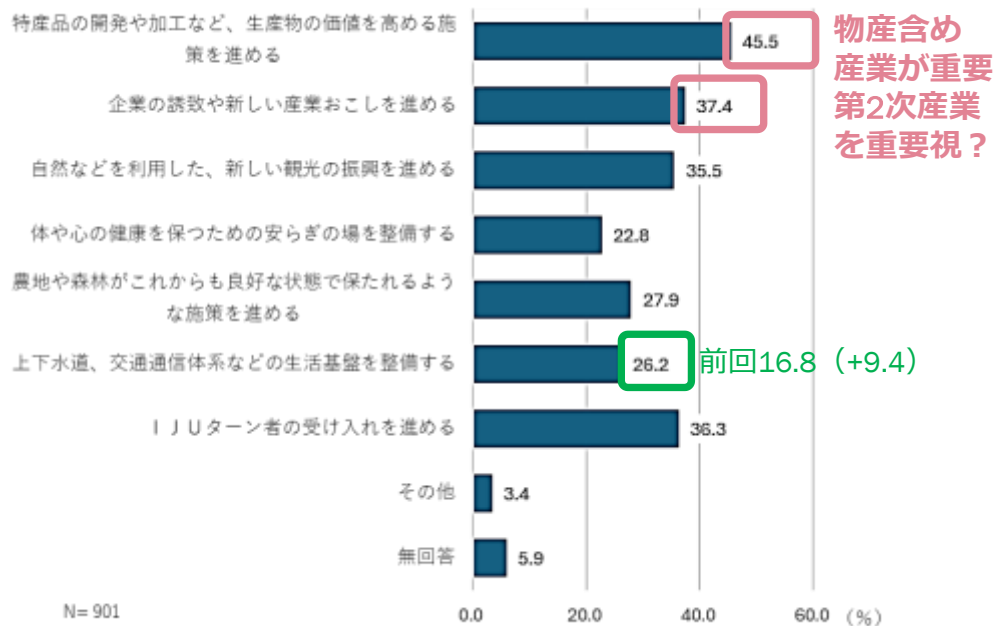


6) 観光振興



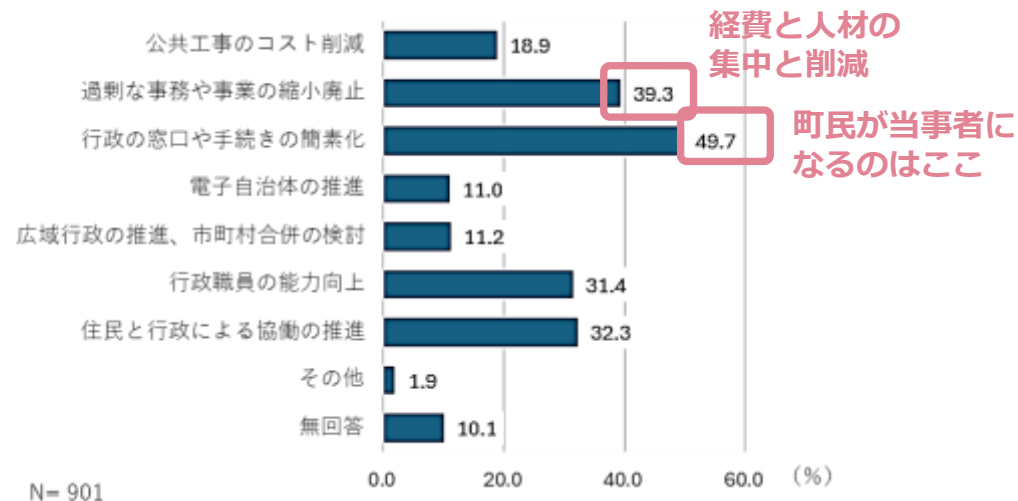
(9) 行政・協働

1) 町の活性化に重要なこと



物産含め
産業が重要
第2次産業
を重要視?

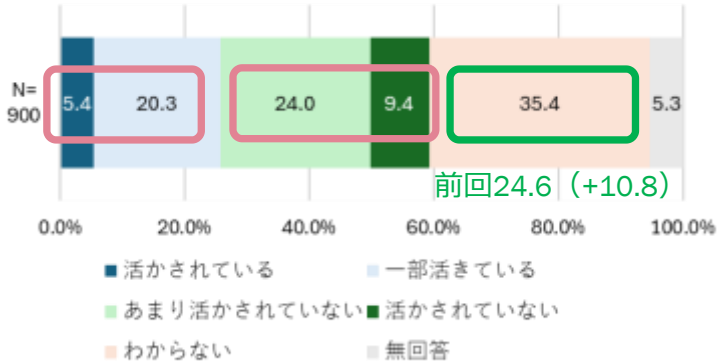
3) 行財政改革で大切なこと



経費と人材の
集中と削減

町民が当事者になるのはここ

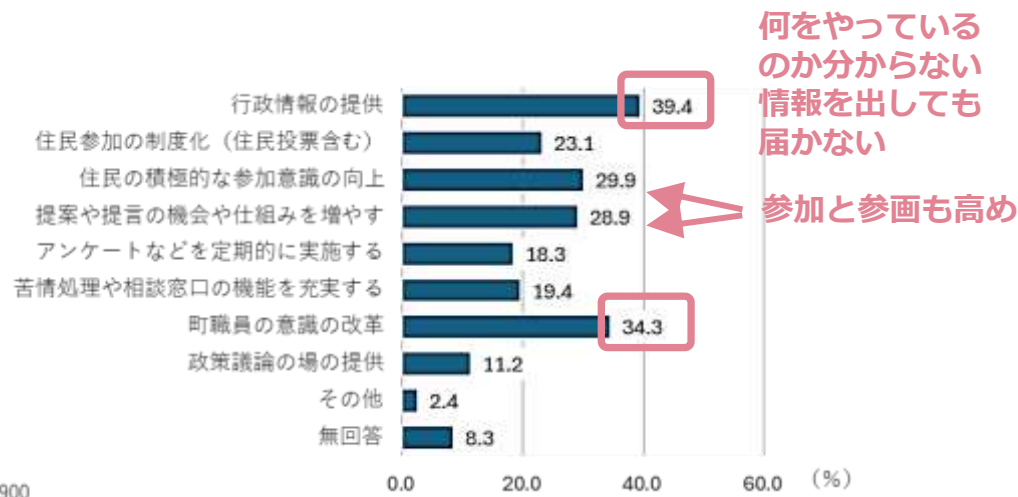
2) 行政に町民の声が活かされているか



●町民の声を活かす
ために重要なこと



「活かされている」+「一部活かされている」25.7%
「あまり活かされていない」+「活かされていない」33.4%



何をやっている
のか分からない
情報を出しても
届かない

参加と参画も高め